

令和07年度 第4回 青梅警察署協議会 議事概要

開催日時 令和08年03月27日 午後03時00分～午後05時00分

開催場所 青梅警察署 講堂
出席者 協議会委員 7名
署長ほか 7名

内 容

会議に先立ち、交通課長、警備課長、刑事組織犯罪対策課長、生活安全課長、地域課長の出席について、各委員から了承を得た。

[業務説明]

1 青梅警察署各課の活動結果

(1) 交通課

ア 交通事故発生状況

イ 各種行事・対策等

(ア) 冬のTOKYO交通安全キャンペーン(12月1日～7日)

(イ) 第87回奥多摩溪谷駅伝競争大会(12月7日)

(ウ) 第64回加藤旗争奪駅伝競走大会(12月14日)

(エ) 第57回青梅マラソン大会(令和8年2月15日)

ウ 交通安全教育

(ア) 交通事故防止対策各種キャンペーン

(イ) 保育園・幼稚園・小学校に対する交通安全教育

(ウ) 自治会等に対する交通安全講習会

(エ) 二輪車・トラックストップ作戦

(2) 警備課

ア 警備実施結果

(ア) 商業施設における合同テロ対処訓練(12月3日)

(イ) みたけ登山競走大会における雑踏警備(12月14日)

(ウ) 初詣に伴う雑踏警備(12月31日～1月3日)

(エ) 青梅市だるま市開催に伴う雑踏警備(1月12日)

(オ) 青梅市二十歳を祝う会開催に伴う雑踏警備(1月12日)

(カ) 武蔵御嶽神社及び成田山清宝院節分会に伴う雑踏警備(2月3日)

(キ) 鈴木自民党幹事長警護警備(2月7日)

(ク) 衆議院議員総選挙投票所警戒警備(2月8日)

(ケ) テロ及び災害対策広報啓発活動(随時)

イ 山岳救助隊の活動結果

(ア) 奥多摩クライミングウォールにおいて登攀訓練(12月1日、15日)

(イ) 奥多摩消防署、奥多摩ビジターセンター職員との合同山岳パトロール(12月15日)

(ウ) 長野県山岳総合センターにおけるアウトドアファーストエイド講習会(令和8年1月24日～25日)

(エ) ホイスト救助訓練(1月26日、30日)

(オ) 栃寄の森における山岳救助隊合同訓練(2月19日)

(カ) 雲取山縦走訓練(2月24日～25日)

(3) 刑事組織犯罪対策課・生活安全課

ア 管内で発生した事件の概要

イ 各種犯罪被害防止活動の推進

(ア) 不審者対応訓練の実施

(イ) 広報啓発活動

： 自治体、防犯協会との連携

： 防犯講話、キャンペーン、パレードの実施

(4) 地域課

ア 各種犯罪の検挙状況

イ 年末年始特別警戒の実施

2 協議会からの意見要望の取組結果について

(1) 路地から交差道路へ出る際、右方への見通しが悪く危険なので確認してほしい。

【回答】現場確認したところ、安全確認ができる位置まで徐々に進めれば視認性に問題はなく、また、過去3年交通事故の発生もない。道路管理者に要望、検討を伝えた。

(2) 吉野街道の速度規制を30キロ規制にしてほしい。

- 【回答】昨今、交通実態に即した合理的な交通規制とすることに見直しを図っているところ。現時点では現状のままをしたい。
- (3) 榎峠にスクラップ工場の跡地があり、住宅廃材などが高いところに積み上げられ危険なので確認してほしい。
- 【回答】現場確認したところ、管理地内に収まっており、廃処理法上問題はなかった。しかしながら建造物は老朽化しており、倒壊等の危険を考慮し、本件について青梅市住宅課に情報提供を行った。
- (4) 路地から交差点を通過しようとする車がしっかりと停まらず、危険なので対策してほしい。
- 【回答】同交差点には、信号機が設置される予定であるが、道路標示が不鮮明であるため、溶着し修復する予定。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
 - (1) 交通対策
 - ア 重大交通事故防止対策
 - (ア) 子供、高齢者、二輪車に対する交通事故防止対策の推進
 - (イ) 春の交通安全運動
 - (ウ) 各種キャンペーンにおける交通対策の実施
 - (エ) 交通安全講習会
 - イ 管内の交通情勢を勘案した交通対策
 - (ア) 多摩周遊道路対策
 - (イ) 行楽期における交通対策の効果的な推進
 - ウ 調布大祭、青梅大祭における交通対策の万全
 - (2) 警備対策
 - ア 調布大祭、青梅大祭に伴う雑踏警備
 - イ 各種訓練
 - (ア) 合同テロ対処訓練
 - (イ) 災害対策訓練
 - (ウ) 山岳救助隊合同訓練
 - (3) 犯罪抑止対策
 - ア 特殊詐欺防止対策及び自転車盗難被害防止対策の更なる推進
 - (ア) 自治体等と連携したキャンペーンの実施
 - (イ) 防犯講話
 - (ウ) 署独自のA T M警戒
 - イ 保育園、小学校等における不審者対応訓練
- 2 協議会からの意見要望等

住江町交差点の歩行者用信号機の現示時間が、他の交差点に比べ短いので現場を確認してほしい。

[その他の意見要望等]

なし

その他

令和07年度 第3回 青梅警察署協議会 議事概要

開催日時 令和07年12月03日 午後03時45分～午後05時30分

開催場所 青梅警察署 講堂
出席者 協議会委員 9名
署長ほか 7名

内容

会議に先立ち、交通課長、警備課長、刑事組織犯罪対策課長、生活安全課長、地域課長の出席について各委員から了承を得た。

[業務説明]

(1) 交通課

- ア 交通事故発生状況
- イ 各種行事・対策等
 - (ア) 秋の全国交通安全運動(9月21日～30日)
 - (イ) 長期未出頭追跡捜査推進強化(11月1日～30日)
 - (ウ) 震災時交通対策訓練(9月1日)
 - (エ) 奥多摩周遊道路対策
 - (オ) 関東運輸局・青梅署・五日市署・九交機等合同整備不良取締り(10月25日)
 - (カ) 交通死亡事故発生に伴う特別対策(10月27日～30日)
 - (キ) 交通重傷(重篤)事故発生に伴う特別対策(11月20日～24日)
- ウ 交通安全教育
 - (ア) 交通事故防止対策各種キャンペーン
 - (イ) 保育園・幼稚園・小学校・中学校に対する交通安全教育
 - (ウ) 自治会に対する交通安全講習会
 - (エ) 二輪車ストップ作戦

(2) 警備課

- ア 警備実施結果
 - (ア) 青梅署震災警備訓練(9月1日)
 - (イ) 奥多摩町防災訓練(9月7日)
 - (ウ) JR東日本との合同テロ対処訓練(10月8日)
 - (エ) 青梅市総合防災訓練(10月19日)
 - (オ) アメリカ合衆国大統領一行来日に伴う警戒警備(10月20日～29日)
 - (カ) 本署非常用電源装置稼働訓練(11月21日)
 - (キ) テロ及び災害対策広報啓発活動(随時)
- イ 山岳救助隊の活動結果
 - (ア) 奥多摩クライミングウォールにおいて山岳救助隊合同訓練(9月8日、10月17日、11月4日、25日)
 - (イ) 無線機基地局点検及び山岳パトロール(9月17日)
 - (ウ) 取材対応(10月2日)
 - (エ) 冬の安全登山キャンペーン(11月1日)

(3) 刑事組織犯罪対策課・生活安全課

- ア 管内で発生した事件の概要
- イ 各種犯罪被害防止活動の推進
 - (ア) 不審者対応訓練の実施
 - (イ) 広報啓発活動
 - ・ 防犯講話、キャンペーンの実施
 - ・ 自治体、防犯協会との連携

(4) 地域課

- ア 各種犯罪の検挙状況
- イ 見せる警戒活動の実施

2 協議会からの意見要望の取組結果について

熊出没の報道が多いが、警察ではどのような対応をとることができるのか。
【回答】警察法二条に基づき、付近住民への注意喚起や避難誘導措置をとる。駆除は自治体が行うが、制約が多くあるため、熊を発見したから即駆除とはできないのが現状である。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
 - (1) 交通対策
 - ア 重大交通事故防止対策
 - (ア) 子供、高齢者、二輪車に対する交通事故防止対策の推進
 - (イ) 冬のT O K Y O交通安全キャンペーン
 - (ウ) 各種キャンペーンにおける交通対策の実施
 - (エ) 交通安全講習会
 - イ 管内の交通情勢を勘案した交通対策
 - (ア) 多摩周遊道路対策
 - (イ) 冬季における交通対策の効果的な推進
 - ウ 駅伝競走大会、青梅マラソン大会における交通対策の万全
 - (2) 警備対策
 - ア 年末年始における初詣及び節分会に伴う雑踏警備
 - イ 各種訓練
 - (ア) 合同テロ対処訓練
 - (イ) 山岳救助隊によるホイスト救助、雲取山縦走訓練
 - (3) 犯罪抑止対策
 - ア 特殊詐欺防止対策の更なる推進
 - (ア) 自治体等と連携したキャンペーンの実施
 - (イ) 防犯講話
 - (ウ) 署独自のA T M警戒
 - イ 自転車盗難被害防止対策
 - (ア) 自転車盗難被害防止対策キャンペーンの実施
 - (イ) 防犯講話
 - ウ 保育園、小学校等における不審者対応訓練
- 2 協議会からの意見要望等
 - (1) 路地から交差道路へ出る際、見通しが悪く危険な箇所があるため、確認していただきたい。
 - (2) 吉野街道の速度規制を30キロ規制にできないか。
 - (3) 榎峠にスクラップ工場の跡地があり、住宅廃材などが高いところに積み上げられた状態で危険なので確認してほしい。
 - (4) 路地から交差点を通過しようとする車がしっかりと止まらず危険なので、対策を講じてほしい。

[その他の意見要望等]

なし

その他

令和07年度 第2回 青梅警察署協議会 議事概要

開催日時 令和07年09月26日 午後03時00分～午後05時00分

開催場所 青梅警察署 講堂
出席者 協議会委員 9名
署長ほか 7名

内容

会議に先立ち、交通課長、警備課長、刑事組織犯罪対策課長、生活安全課長、地域課長の出席について、各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 各課の業務推進状況について（6月1日から8月末まで）
 - (1) 交通課
 - ア 交通事故発生状況
 - イ 各種行事・対策等
 - (ア) 子供SAFETY ACTIONの強化推進（6月1日～30日）
 - (イ) 行楽客等に対する飲酒運転させないキャンペーン（7月4日、5日）
 - (ウ) THE ROAD RACE TOKYO TAMA 2025対策（7月13日）
 - (エ) 青梅市納涼花火大会（8月2日）
 - (オ) 奥多摩町納涼花火大会（8月9日）
 - ウ 交通安全教育
 - (ア) 交通事故防止対策各種キャンペーン（24回）
 - (イ) 保育園・幼稚園・小学校・中学校に対する交通安全教育（13回）
 - (ウ) 自治会に対する交通安全講習会（27回）
 - (エ) 二輪車ストップ作戦（4回）
 - (2) 警備課
 - ア 警備実施結果
 - (ア) 都議会議員選挙に伴う投票所及び開票所警戒（6月22日）
 - (イ) 青梅市土砂災害対応訓練（6月29日）
 - (ウ) 水の事故防止キャンペーン（7月5日）
 - (エ) 原水爆禁止国民平和大行進デモ警備（7月17日～19日）
 - (オ) 参議院議員選挙に伴う投票所及び開票所警戒（7月20日）
 - (カ) 青梅市納涼花火大会開催に伴う雑踏警備（8月2日）
 - (キ) 奥多摩町納涼花火大会開催に伴う雑踏警備（8月9日）
 - (ク) 川下りキャンペーン（8月15日）
 - イ 山岳救助隊の活動結果
 - (ア) 関係機関と連携した安全登山講習会（5回）
 - (イ) 水難救助訓練（6月23日）
 - (ウ) 6団体合同 行楽客に対する安全登山啓蒙活動（8月11日）
 - (3) 刑事組織犯罪対策課・生活安全課
 - ア 管内で発生した事件の概要
 - イ 各種犯罪被害防止活動の推進
 - (ア) 不審者対応訓練の実施
 - (イ) 広報啓発活動
 - ・ 防犯講話、キャンペーンの実施
 - ・ 自治体、金融機関との連携
 - (4) 地域課
 - ア 各種犯罪の検挙状況
 - イ 見せる警戒活動の実施
- 2 協議会からの意見要望の取組結果について

昨年、水難死亡事故が発生し、立入禁止とした河原にまだ外国人等の観光客が降りて騒いだりしているため対策を講じてほしい。

【回答】東京都西多摩建設事務所、奥多摩町役場、青梅警察署の三者で協議、現場踏査を実施した。それぞれの管理権に基づき、掲示板設置の検討と、立入禁止テープ展張の継続、特に台風等接近時における立入禁止措置を講じる予定である。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容

- (1) 交通対策
 - ア 「取締り活動ガイドライン」の見直し
 - (ア) 駐車監視員の活動
 - (イ) 現状の取締り重点路線、地域
 - (ウ) 今後も管内の交通情勢を勘案し、年に一度の見直しを行う。
 - イ 重大交通事故防止対策
 - (ア) 各種キャンペーンにおける交通対策の実施
 - (イ) 子供、高齢者、二輪車に対する交通事故防止対策の推進
 - (ウ) 秋の全国交通安全運動
 - (エ) 交通安全講習会
 - ウ 管内の交通情勢を勘案した交通対策
 - (ア) 多摩周遊道路対策
 - (イ) 行楽期における交通対策の効果的な推進
 - (2) 警備対策
 - ア 行楽期の来訪者対策
 - (ア) 山岳遭難防止キャンペーン
 - (イ) 山岳パトロール 登山道と避難小屋の点検
 - イ 各種訓練
 - (ア) 震災警備総合訓練
 - (イ) 青梅市総合防災訓練
 - (ウ) 奥多摩町総合防災訓練
 - (3) 犯罪抑止対策
 - ア 特殊詐欺防止対策の更なる推進
 - (ア) 自治体と連携した特殊詐欺防止キャンペーンの実施
 - (イ) 防犯講話
 - (ウ) 署独自のATM警戒
 - イ 自転車盗難被害防止対策
 - (ア) 防犯講話
 - (イ) 自治体等と連携した自転車盗難被害防止対策の実施
 - ウ 保育園、小学校等における不審者対応訓練
- 2 協議会からの意見要望等
 熊出没の報道が多いが、警察ではどのような対応をとることができるのか。
 【回答】警察法二条に基づき、付近住民への注意喚起や避難誘導措置をとる。駆除は自治体が行うが、制約が多くあるため熊を発見したから即駆除とはできないのが現状である。

[その他の意見要望等]

警察学校の卒業式を見学したが、自分の子供達と同世代の学生の姿を見て頼もしく感じた。今の若者も捨てたものではないなと思った。

その他

令和07年度 第1回 青梅警察署協議会 議事概要

開催日時 令和07年06月04日 午後02時00分～午後05時00分

開催場所 青梅警察署 講堂
出席者 協議会委員 9名
署長ほか 7名

内容

会議に先立ち、会長、副会長を互選した。
また、交通課長、警備課長、刑事組織犯罪対策課長、生活安全課長、地域課長の出席について、各委員から了承を得た。

【業務説明】

- 1 各課の業務推進状況について（3月1日から5月末まで）
 - (1) 交通課
 - ア 交通事故発生状況
 - イ 各種行事・対策等
 - (ア) 春の全国交通安全運動（4月6日～15日）
 - (イ) 春の交通安全講習会（3月1日～19日までの間、15会場）
 - (ウ) 観梅市民まつり（3月2日）
 - (エ) 調布大祭（4月13日）
 - (オ) 青梅大祭（5月2日、3日）
 - ウ 交通安全教育
 - (ア) 交通事故防止対策各種キャンペーン（40回）
 - (イ) 保育園・幼稚園・小学校・中学校に対する交通安全教育（51回）
 - (ウ) 自治会に対する交通安全講習会（23回）
 - (エ) 二輪車ストップ作戦（2回）
 - (オ) 高校生に対する自転車ヘルメット啓発キャンペーン（5月23日）
 - (2) 警備課
 - ア 警備実施結果
 - (ア) 重税反対西多摩集会デモ警備（3月13日）
 - (イ) 青梅高水国際トレイルラン大会警備（4月6日）
 - (ウ) 調布大祭警備（4月13日）
 - (エ) 青梅大祭警備（5月2日、3日）
 - (オ) 東京都知事警護警備（5月25日）
 - イ 山岳救助隊の活動結果
 - (ア) 関係機関と連携した安全登山講習会（3月15日）
 - (イ) 行楽客に対する安全登山啓蒙活動（4月29日）
 - (ウ) 関係機関との合同パトロール（5月21日）
 - (3) 刑事組織犯罪対策課・生活安全課
 - ア 管内で発生した事件の概要
 - イ 各種犯罪被害防止活動の推進
 - (ア) 不審者対応訓練の実施
 - (イ) 広報啓発活動
 - ・ 防犯講話、キャンペーンの実施
 - ・ 自治体、鉄道会社との連携
 - (4) 地域課
 - ア 各種犯罪の検挙状況
 - イ 都県境における三署合同緊急配備訓練の実施（五日市署、山梨県警上野原署）
- 2 協議会からの意見要望の取組結果について
 - (1) 自動車で路地から大通りに出る際に見通しが悪く、車両等の確認が困難な場所があるので対策を講じてほしい。

【取組】

 - ア 現場確認を行い、視認性に問題が無いことを確認した。
 - イ 道路標示に一部不鮮明な部分があったため、担当業者に依頼し改善予定。
 - (2) 青梅街道上の交差点に右折車両用の通行帯を設置できるか確認してほしい。

【取組】本部主管課に確認したところ、要件を満たさないため、右折車両用の通行帯を設けることは困難との回答を得た。
 - (3) 山間の道路沿いに、産業廃棄物か粗大ゴミのような物が多量に放置されているので、現場を確認してほしい。

【取組】

- ア 物件が放置されていることを確認したため、市役所に連絡し、市役所から土地所有者に指導している。
- イ 「青梅市役所にて対応中」との立て看板を設置した。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
 - (1) 交通対策
 - ア 重大交通事故防止対策
 - (ア) 各種キャンペーンにおける交通対策の実施
 - (イ) 子供、高齢者、二輪車に対する交通事故防止対策の推進
 - (ウ) 秋の交通安全講習会
 - イ 管内の交通情勢を勘案した交通対策
 - (ア) 多摩周遊道路対策
 - (イ) 各種イベントに向けた交通対策の効果的な推進
 - (2) 警備対策
 - ア 行楽期の来訪者対策
 - (ア) 登山客等に対する講習
 - (イ) 奥多摩ビジターセンターとの合同キャンペーン
 - イ 各種警備
 - (ア) 選挙に伴う投票所警戒
 - (イ) 原水禁デモ警備
 - (ウ) 花火大会に伴う雑踏警備
 - (3) 犯罪抑止対策
 - ア 特殊詐欺防止対策の更なる推進
 - (ア) 自治体と連携した特殊詐欺防止キャンペーンの実施
 - (イ) 防犯講話
 - (ウ) 署独自のATM警戒
 - イ 自転車盗難被害防止対策
 - (ア) 防犯講話
 - (イ) 自治体等と連携した自転車盗難被害防止対策の実施
 - ウ 保育園、小学校等における不審者対応訓練
- 2 協議会からの意見要望等
昨年、水難死亡事故が発生し、立入禁止とした河原にまだ外国人等の観光客が降りて騒いだりしているため対策を講じてほしい。

[その他の意見要望等]

なし

その他

令和06年度 第4回 王子警察署協議会 議事概要

開催日時 令和07年03月13日 午後03時30分～午後05時00分

開催場所	王子警察署 講堂	出席者	協議会委員 9名 署長ほか 2名
------	----------	-----	---------------------

内容

[業務説明]

- 1 改正道路交通法の周知と飲酒運転の取締りの強化推進
 - (1) 広報啓発活動
 - ア 町会掲示板及び駐輪場への広報チラシ貼付
駐輪場職員に対する注意喚起も合わせて実施
 - イ 町会の集会における交通安全講話
 - ウ 北区三署合同による交通安全キャンペーン
赤羽駅前及び王子駅前交通安全広報を実施
 - (2) 子供を対象とした広報啓発活動
 - ア 交通少年団クリスマス会での交通安全ゲーム等の実施
 - イ 交通少年団による交通安全祈願餅つき大会の実施
 - (3) 二輪車対策
 - ア 二輪車ストップ作戦による広報
 - イ プロテクターの有効性について
- 2 特殊詐欺の発生状況と対策の推進
 - (1) 被害防止キャンペーン
 - ア 公園の花植え活動の参加者に対する被害防止の注意喚起
 - イ 町会のスポーツ大会における広報活動
 - ウ 駅前における広報啓発キャンペーンの実施
主に若い世代を対象として闇バイトやSNSに潜む危険性について広報した。
 - エ 歳末防犯・防火パトロールの実施
開会式において管内の特殊詐欺発生状況や特殊詐欺の手口を紹介した。
 - (2) 町会や銀行待合所における防犯講話
特殊詐欺の手口や被害状況、防犯対策を紹介
 - (3) 「特殊詐欺根絶アクションプログラム・東京」について
管内で多く発生している手口に関するDVDを視聴
- 3 管内の治安情勢
 - (1) 交通事故発生状況
令和6年中は物件事故が増加し、今年も物件事故が若干増加している。
 - (2) 主な犯罪発生状況
令和6年中は自転車盗が大幅に増加したが、今年は若干減少している。
 - (3) 特殊詐欺発生状況
令和6年中はオレオレ詐欺が大幅に増加し、今年も増加傾向にある。

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
 - (1) 子供の重大交通事故防止対策の推進
 - ア 春は入学・卒業に伴い通学経路や状況が変わる子供が多くいるため、交通安全教育をはじめとした交通事故防止対策を推進していく必要がある。
 - イ 4月6日から実施される「春の全国交通安全運動」においても、重点のひとつとして子供の交通安全対策が掲げられている。
 - (2) 震災等の災害を想定した諸対策の推進
 - ア 近年の異常気象の影響から様々な地域で洪水や土砂崩れが発生している。
 - イ 大きな地震が各地で定期的に発生しており、南海トラフ地震への危機意識が高まっている。
 - ウ 王子署でも各種災害の発生を想定して諸対策を推進する必要がある。
 - (3) 特殊詐欺の発生状況と被害防止対策の推進
 - ア 昨年と今年の管内における特殊詐欺被害件数は増加している。
 - イ 幅広い世代に対して広報啓発活動を継続的に実施する必要がある。

2 警察署協議会からの意見要望等

- (1) 新入学児童が子供だけで登下校をするようになるため、交通安全教育や交通事故防止対策を推進していく必要がある。
- (2) 小学校に入学すると子供達の行動範囲が広がる。通学路の危険な箇所がないか確認して対策を講じることで交通事故防止につながるのではないか。
- (3) 王子署管内も河川等が氾濫すれば、広範囲に冠水するおそれがあるため、災害に備えておく必要がある。
- (4) 特殊詐欺の手口を紹介するDVDを見て、ATMの近くで電話をしている人を見かけたら声を掛けようと思った。
- (5) 日本人が外国の特殊詐欺の拠点で犯罪に加担していることが報道されているが、闇バイト等の犯罪行為に加担しないような対策を講じていく必要がある。
- (6) 闇バイトが低年齢化しているため、子供を対象とした防犯教室等で闇バイトについて広報啓発をしていく必要がある。

[その他の意見要望等]

なし

その他

令和7年度第1回会議は、6月開催予定

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和06年度 第3回 王子警察署協議会 議事概要

開催日時 令和06年12月12日 午後03時00分～午後04時30分

開催場所	王子警察署 講堂	出席者	協議会委員 9名 署長ほか 2名
------	----------	-----	---------------------

内 容

[業務説明]

- 1 前回会議での質問に対する回答
災害時の行政機関ごとの役割
 - (1) 防災や発災時において警察、消防、区はそれぞれの役割があり、各機関が日頃から連絡を密にしている。
 - (2) 有事の際に、密接に関わり合いながら迅速・的確に活動できるよう対策を講じている。
- 2 台風期における風水害対策
 - (1) 風水害事前対策
 - ア 交番勤務員が吸水性土嚢(どのお)の工作・設置方法を確認
 - イ 資器材の点検、稼動訓練を実施
 - (2) 署員による各種訓練
 - ア 装備資器材習熟訓練
救出救助部隊員の対応力向上
 - イ 車両避難訓練
河川の氾濫による水害を想定
 - ウ 心肺蘇生・AED使用訓練
消防署員の指導の下に実施
 - (3) 広報啓発活動
 - ア 町会、自治会の集会での防災講話
署員が出向いて身近な防災術等を紹介
 - イ 祭礼やイベントでの広報
会場で防災チラシやグッズを配布
 - ウ 外国人コミュニティとの協働
コミュニティの代表者を招いて炊き出し、AED訓練を実施
- 3 110番通報の現状と#9110の利用
 - (1) 110番通報受理件数
令和5年中の都内及び当署の受理件数
 - (2) 当署の受理傾向
騒音苦情、パトロール要望、交通物件事故、駐車違反に対する苦情等が多数
 - (3) 通報の種類
 - ア 緊急ダイヤル「110番」
 - イ 警察相談ダイヤル「#9110」
- 4 管内の治安情勢
 - (1) 交通事故発生状況
交通人身事故、交通物件事故ともに前年比で若干増加
 - (2) 主な犯罪発生状況
自転車盗が大きく増加
 - (3) 特殊詐欺
 - ア 発生は前年比で若干増加
 - イ 検挙状況と未然防止状況

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
 - (1) 改正道路交通法の周知と飲酒運転取締りの強化
 - ア 11月1日施行の改正道路交通法による新たな罰則「自転車の飲酒運転等」、「自転車運転中の携帯電話等の使用」等の周知を推進
 - イ 年末は、飲酒機会の増加により飲酒運転に起因する交通事故が多発傾向にあるため、飲酒運転に対する取締りを強化
 - (2) 特殊詐欺等の発生と対策
 - ア 特殊詐欺の発生状況

- (ア) 手口の種類と手口別の発生状況
- (イ) 年間(令和6年)の詳細な被害状況は次回報告
- イ 被害防止対策
 - (ア) アポ電入電時の車両広報、ATMへの固定配置
 - (イ) キャンペーン、防犯講話等の広報啓発活動
- ウ 強盗事件に関する情報発信
 - (ア) 関東圏で多発している強盗事件が体感治安を悪化
 - (イ) 被害に遭わないための具体的対策を含めて情報を発信
- 2 警察署協議会からの意見要望等
 - (1) 改正道路交通法の周知について
 - ア 駐輪場や酒類提供店にポスターを掲示するなど広報啓発に努めてほしい。
 - イ 職務質問や検問により自転車の取締りを実施してほしい。
 - (2) 特殊詐欺対策等について
 - ア 被害の状況は昨年と同程度とのことだが、更なる対策を実施してほしい。
 - イ 強盗事件の多発に住民は不安を感じているので、警察から情報を教えてもらって委員からも周知したい。

[その他の意見要望等]

なし

その他	令和6年度第4回会議は令和7年3月開催予定
-----	-----------------------

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和06年度 第2回 王子警察署協議会 議事概要

開催日時 令和06年09月27日 午後03時00分～午後04時30分

開催場所	王子警察署 講堂	出席者	協議会委員 9名 署長ほか 2名
------	----------	-----	---------------------

内 容

[業務説明]

- 1 夏休みに向けた子供の交通事故防止対策等の推進
 - (1) 園児・小学生に対する交通安全教室
 - ア 横断歩道の渡り方や標識の種類・意味について指導
 - イ 模擬信号などを活用した歩行訓練
 - (2) 生徒・児童への広報啓発
 - ア 小学校の全校朝礼や給食時間の放送で、夏休みの交通事故防止を呼び掛け
 - イ 夏祭り会場における交通安全の広報啓発
 - (3) 交通少年団による活動
 - ア 打ち水をしながら交通事故防止の呼び掛けを実施
 - イ ホテルでの青年会議所の式典で鼓笛とパトントワリングを披露
 - (4) 飲酒運転撲滅対策
 - ア 管内企業に署員を派遣して、飲酒運転撲滅や子供の交通特性について講話
 - イ 管内の酒類提供店舗に広報グッズを配布し来店者への呼び掛けを依頼
 - (5) 「通学路安全運転呼びかけ隊」の結成
 - ア 新設された通学路安全運転呼びかけ隊に委嘱状を交付
 - イ 現在までの設置及び活動の状況
- 2 特殊詐欺対策
 - (1) 被害防止キャンペーン
 - ア 祭礼会場における広報啓発活動
 - (ア) 特殊詐欺の手口の説明
 - (イ) 被害防止グッズやチラシの配布
 - イ 関係機関との協働
 - (ア) 当署野球部員と管内高校の野球部員が特殊詐欺や闇バイトへの注意喚起
 - (イ) 署員と金融機関職員が年金支給日に合わせて被害防止キャンペーン
 - (2) 防犯講話の実施
 - ア 町会やアパートマンション防犯協力会員の会合に署員を派遣
 - イ 自動通話録音機の設置促進等を呼び掛け
 - (3) 効果的な広報啓発
 - ア デジタルサイネージの活用
 - コミュニティバスや区役所のデジタルサイネージでの、闇バイトに対する注意喚起、警視庁防犯アプリ「デジポリス」の利用促進
 - イ 署員の戸別訪問や架電による注意喚起
 - 署員一人当たり約40軒の高齢者宅を割り当て被害防止の注意喚起
 - (4) 未然防止と犯人検挙
 - ア 未然防止と検挙の状況
 - イ コンビニエンスストア店員や金融機関職員による被害未然防止事例
 - ウ 協力者に対する感謝状の贈呈
- 3 管内の治安情勢
 - (1) 交通事故発生状況
 - (2) 主な犯罪発生状況

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
 - (1) 台風期における風水害対策
 - ア 異常気象等の影響
 - 近年の異常気象等により、国内各地で猛烈な大雨や台風が発生し、洪水や土砂崩れ等の被害が頻発している。
 - イ 当署管内への影響
 - 今後、台風等で荒川が決壊した場合、管内の大半が水没して甚大な被害が予想されるため、被害を想定した各種対策を進める必要がある。

- (2) 110番通報の現状と 9110の利用
 - ア 当署の110番受理状況
多岐に渡る通報内容と警察官の様々な活動
 - イ 9110の利用
 - (ア) 急を要しない心配事などのための警察相談ダイヤル
 - (イ) 相談ダイヤルの利用促進が、110番の適正な運用、真に警察官を待つ人のもとへの一刻も早い到着につながる。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
 - (1) 災害対策について
 - ア 台風期における風水害対策
王子署管内も大きな河川があり、いつ大きな被害が発生してもおかしくないの
で、住民を守るために各種対策を進めてほしい。
 - イ 避難場所の車両広報
災害時に車両で広報する際は避難場所についても広報してほしい。
 - ウ 自治体、警察、消防の役割分担
区と警察、消防の防災における「棲み分け」について教えてほしい。
(次回会議で説明予定)
 - (2) 110番通報について
 - ア 管内に居住したり、勤務したりする人は、110番通報の現状や、それに対応する警察官の活動に関心があるので、本日の説明は興味深いものだった。
 - イ 110番通報を分析し、管内の安全・安心を守る各種対策を推進してほしい。

[その他の意見要望等]

- 1 交通事故防止について
 - (1) 街路樹が道路にはみ出して危険な箇所を見つけた場合にはどうすれば良いか。
【回答】道路管理者に申し入れをするので連絡してほしい。
 - (2) 大きな幹線道路の横断歩道では交通ルールを守らない自転車利用者が多いので、警察官が駐留して注意してほしい。
【回答】警察官が付近を通る際など、あらゆる機会に注意していく。
- 2 身近な安全・安心について
 - (1) アパートの敷地内に長期間自転車が放置されているが、どうしたらよいか。
【回答】警察に通報していただければ、確認して対応する。
 - (2) 豊島5丁目駐在所は警察官が常駐していないが、付近に大きな団地があり、高齢者も多く心配している。
【回答】勤務員が不在の場合は、近くの交番勤務員やパトカー勤務員が迅速に対応するので、安心してほしい。
 - (3) 十条地区の高層マンション建設によって強いビル風が吹くことがあるので、交番勤務員や付近の人が怪我をしないように対策を講じてほしい。
【回答】負傷者が出ないように注意喚起していく。

その他	令和6年度第3回会議は12月開催予定
-----	--------------------

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和06年度 第1回 王子警察署協議会 議事概要

開催日時 令和06年06月05日 午後03時00分～午後04時30分

開催場所	王子警察署 講堂	出席者	協議会委員 8名 署長ほか 2名
------	----------	-----	---------------------

内 容

[業務説明]

- 1 前回の協議会における質問への回答
震災訓練等の防災における警察と消防の役割や訓練は、それぞれの立場で異なるものの、実務上、現場では連携、協力しながら活動している。
町会等で防災訓練を計画する際は、実施内容を含め、その都度相談してほしい。
- 2 子供の重大交通事故防止対策の推進について
 - (1) 保護者に対する交通安全教室
 - ア 小学校の新入学児童の保護者説明会や町会の会合に署員を派遣し、各家庭で交通事故防止意識の向上を図るよう呼び掛け
 - イ 保育園に依頼して、自転車の安全な乗り方に関するチラシを自転車で園児を送迎する保護者に対して配布するとともに駐輪場に掲示
 - (2) 子供に対する交通安全教室
 - ア 効果的な実施
 - (ア) 北区少年野球大会の参加児童に対する自転車交通安全教室
 - (イ) 小学校での体験型教室
 - ・ 署員を派遣して新一年生と校外において歩行訓練
 - ・ トラックを展示し、児童が乗車して死角体験、巻き込み事故の説明
 - イ 模範となる少年に対する表彰
交通少年団員の卒団式で、警視庁交通部長の感謝状と記念品を授与
 - (3) 春の全国交通安全運動における活動
 - ア 「王子交通安全のつどい」
俳優の高島礼子さんを一日警察署長に迎え、高齢者の事故防止を呼び掛けた。
 - イ 春の全国交通安全運動出動式
交通安全協会と協働し、白バイやパトカーが赤色灯点灯走行しながら交通事故防止を呼び掛けた。
 - ウ 高校生に対する自転車安全指導
署員が高校で自転車の乗り方を指導し、自転車保険加入の重要性を説明した。
- 3 大規模災害を想定した各種対策の推進について
 - (1) 署員を派遣しての防災指導
 - ア 町会の会合で、避難場所や避難経路の確認、非常持ち出し品の準備、非常食の備蓄とローリングストック等について講話
 - イ 日本語学校の留学生に対して、災害発生時に通訳として日本語が話せない外国人を避難誘導するよう依頼
 - (2) 広報啓発活動
 - ア 「災害に強い街づくり」に向けた活動
商店街での防災パレード、北区と協働した広報等を実施
 - イ 災害対策セミナーの開催
当庁災害対策課から講師を招いて実施
 - ウ 視覚に訴える広報
当署ロビーに設置したモニター、鉄道駅のデジタルサイネージを活用
 - (3) 防災訓練・教養
 - ア 職場体験に参加した大学生に対して、災害時に役立つロープワークや災害対策資材を紹介
 - イ 消防署から指導員を招致して署員が救命救急訓練を実施
- 4 管内の治安情勢
 - (1) 交通事故発生状況
 - (2) 指定重点犯罪の発生状況
 - (3) 特殊詐欺の検挙・未然防止

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容

- (1) 夏休みに向けた子供の交通事故防止対策
 - ア 例年の傾向
 - 4月から7月にかけて子供の事故が増加
 - イ 当署管内の特徴
 - 公園付近や住宅街での事故が多く、夏休みを迎えるにあたり、子供を当事者とする事故防止対策が必要
 - ウ 「通学路安全運転呼びかけ隊」の普及促進
 - 通学路で運転手に対し安全運転を呼び掛ける同隊の結成を促し、子供を守るための対策を推進
 - (2) 特殊詐欺対策
 - ア 本年の管内情勢
 - (ア) 被害件数は前年を上回るペースで増加し、被害額も高額に上っている。
 - (イ) 被害に遭わないまでも「アポ電」に関する情報が多数寄せられている。
 - イ 新たな手口への対応
 - 犯人グループは警察の対策を察知して手口を変えてくるため、あらゆる対策を地道に実施していく必要がある。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
- (1) 交通事故防止対策
 - ア 子供の事故防止
 - (ア) 家族の運転する車にひかれて亡くなる子供のニュースをよく耳にするので、自分の家の周りでも十分に気をつけるよう広報を実施してほしい。
 - (イ) 夏休みに入る前に、子供たちに対する様々な活動を進めてほしい。
 - イ 広報啓発の推進
 - (ア) 子供の交通安全教育はもちろん、大人への広報啓発も推進してほしい。
 - (イ) 自転車について、走行ルールや軽車両であるとの認識が浸透していないように感じるので、各種広報や対策を実施してほしい。
 - (2) 特殊詐欺対策
 - ア 最新の情勢を捉えた対策
 - (ア) 高齢者世帯に新たな手口の電話が掛かってきているので、新たな手口に対応する広報を実施してほしい。
 - (イ) 定額減税、新紙幣発行等の新制度に乗じた詐欺の発生も懸念されるので、あらゆる対策を実施してほしい。
 - イ 効果的な広報
 - (ア) デジタルサイネージの活用等、インパクトのある広報を実施してほしい。
 - (イ) 病院など高齢者が集まる場所での広報も必要だと思う。

[その他の意見要望等]

なし

その他	令和6年度第2回会議は9月開催予定
-----	-------------------

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。